

十八親和銀行が誕生して十月で一周年を迎えました。これを記念して、現在、十八親和アートギャラリーでは、秋季企画展として長崎にちなんだ企画展を開催しています。絵画展示室1では、長崎市出身で“かっぱ”の絵で知られる「清水崑展」を、季節展示室では、江戸時代に土産物として人気を博した「長崎古版画」の特別展示を行っています。

「清水崑展」では、清水崑が晩年に取り組んだ故郷・長崎の行事をテーマにした作品を中心に収蔵する全6点をご紹介します。毛筆の柔らかな線と淡い色彩による、擬人化されたかっぱのユーモラスな作品はあたたかく、観る者を楽しませてくれます。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っています。

清水 崑(しみず・こん)：1912～1974。長崎市銭座町(現、長崎市天神町)生まれ。本名、幸雄。1931年に上京、上野での街頭似顔絵描きを経て、雑誌や書籍の挿絵を担当する。1934年に吉田貴三郎の勧めで「新漫画派集団」に参加。戦後は政治漫画や風刺画で活躍した他、「かっぱ川太郎」や「かっぱ天国」など“かっぱもの”と称される一連の漫画で人気を博した。

十八親和アートギャラリー

鑑賞
無料



[開館時間] 10:00～16:00(入館は15:30まで)

[休館日] 日・月・祝日、年末年始(12/31～1/3) ※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856

西肥バス島瀬バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

秋季企画展

清水

崑展

2021

9/10

[金]

10/30

[土]

特別展示

長崎古版画



清水 崑「コッコデショ」 紙に墨・着色 120×120cm